



鬼まつりを訪れた大勢の見物客。踊りの後には、たいまつ
の煙で清められた餅もふるまわれました。
秋津住吉神社で奉納された「秋津百石踊」。伝統の舞は、
次の世代に受け継がれていきます。



初夏の陽気のもとでの茶摘みのようす。
豊富な土質と穏やかな気候が育てる「や
しる茶」は、香りの良さで知られており、
農林水産大臣賞を受賞したことも。



滝野地域の新1年生による稚鮎の放流。
早朝から岩場に太公望が陣取り、鮎の初釣りを楽しまれました。
川面を照らす花火。打ち上がるたびに見物客からは歓声が。
お釈迦様に甘茶をかける子どもたち。
子どもたちによる勇壮な和太鼓演奏。
鮎が急流を遡上する習性を利用する「笥漁」の仕掛け。



鬼まつりを訪れた大勢の見物客。踊りの後には、たいまつ
の煙で清められた餅もふるまわれました。
秋津住吉神社で奉納された「秋津百石踊」。伝統の舞は、
次の世代に受け継がれていきます。

また、雨乞い踊りとして知られる
県指定重要無形民俗文化財「秋津百
石踊」も、4月29日に奉納されまし
た。干ばつ時のみ舞われる幻の舞と
なっていました。伝統文化を継承
するため、今後、毎年この日に奉納
されることとなりました。

5月5日には、室町時代から伝わ
るといわれる県指定重要無形民俗文
化財「鬼追踊」が、国宝・朝光寺で
奉納されました。松明を持った翁の
踊りで始まり、4匹の鬼が、単調な
鐘の拍子に合わせて、五穀豊穡・無
病息災を祈り、勇壮な踊りを披露。
市内外から大勢のアマチュアカメラ
マンが詰め掛けました。

鮎漁解禁では、琵琶湖産の稚アユ
200キロが放流され、この日を待
ちわびた釣りファンが初釣りを満喫
また、伝統漁法「笥漁」の仕掛けも
リニューアルされました。

山々が新緑に包まれる好季節、市
内は初夏の訪れを告げるさまざまな
イベントでにぎわいました。

初夏の加東

Photo Album

フォト・アルバム

